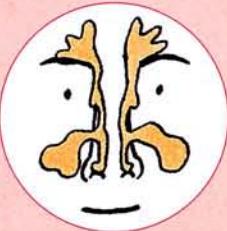


1 そもそも副鼻腔って何?

鼻の周囲に広がるのが副鼻腔。左右の上頸洞のほか、おでこに開いた前頭洞などがあり、空気が出入りするようにできている。



ふくびくう
それって実は副鼻腔炎かも?

「ふだん鼻がつまつたり鼻水が出たりするのは、鼻腔つまり鼻の穴の中。カビ下鼻甲介こうかという粘膜のヒダで起る現象です」。
副鼻腔というのは、その鼻腔から細い通路でつながっている、骨の中に開いた空洞のこと。
「骨の成長につれて広がるんですよ。顔の骨ってボリュームがあるから、仮にぎっしりつまつたままだと、重くて首で支えきれない。それを防ぐ目的で、頭を軽量化するためにできた空洞ではないかと考えられます」

季節でもないのに花粉症?

なんだか鼻がすつきりしない。
頭も重くてうつとうしい。花粉症の季節が終わってもそんな症状が残っている人、あるいは鼻風邪が長引いている人は気をつけて。おそらくトラブルが起きている場所は、鼻のずっと奥、自分では見ることのできない領域、副鼻腔。

「なじみのない名前だと思いま
すが、副鼻腔炎自体は珍しいものではありません。ただ、こじらせて慢性化するとやっかい。

それに、副鼻腔のある場所は頭や目にも近いため、いつなん問題が起こると、思わず重い症状を引き起こすこともあるんですよ」と、笠井耳鼻咽喉科クリニックの笠井創先生。

自分の体の一部なのに、知らないことばかりの鼻の中。何に、どう気をつければいいのか詳しく述べたい!

なかなか治らない
鼻の不調は、副鼻腔の炎症が原因かも。

2 副鼻腔炎ってどんなもの?

「ふだんから潤いをもたせるために、副鼻腔にもある程度の水分はあるんです。でも風邪などが原因で粘膜が腫れて厚くなると、分泌物が増え、その分泌物から栄養分を摂つて細菌が増殖して、膿、いわゆる鼻水が溜まってしまう。これが副鼻腔炎」
鼻風邪も花粉症などアレルギー性の鼻炎も、初期に出る鼻水はサラサラ。でもほとんどの場合、少しだつと粘度が高くなる。「ねばつくなつた時点での副鼻腔の炎症もあると考えていい。とくに、黄色っぽい鼻水は、確実に副鼻腔からのものです。つまり意識していないだけで、風邪をひけばたいていは、一時的に急性の副鼻腔炎になつているというわけ。治るには2~3週間、長いときには2~3か月かかります」



鼻水や鼻づまりの不快な症状が長引くのは、副鼻腔炎を起こしているからかもしれません。